

生活科学学習指導案

『わくわく くしどたんけんたいパート1』 ～4丁目公園のひみつをさがろう～

指導者 廿日市市立金剛寺小学校
柿本 多鶴子

- 1 実施期間 平成21年6月中旬～7月
- 2 学 年 第1学年 18名
- 3 単元について

- 本学級の児童は、4月に2年生に案内され、クイズを解きながら学校探検を楽しんだ。またその後、自分で校庭を歩きながら季節を感じたり生き物を見付けたりして校庭探検を行った。このような学校探検を通して、学校には多くの人と一緒に生活していることやみんなで使う場所やものがたくさんあることに気付いていった。学校生活も3か月が過ぎ、担任や学級の友達だけでなく、他の職員や上級生とのかかわりも増えてきた。また、休憩時間には上級生や友達とともに教室外で遊ぶなど、行動範囲も広がっている。その中で、校内で出会う人たちにあいさつをしたり、遊具やトイレなどの施設をルールやマナーを守って使ったりすることが身に付いてきている。

校区内には大小合わせて5つの公園があるが、その利用状況については個人差が大きい。友達と毎日のように公園を利用して遊ぶ児童は10%（2名）のみで、公園には保護者としてしか出かけない子どもが70%を越える。また、残りの16%（3名）の児童はほとんど公園に行って遊ぶことがないという。児童は校区にある公園の存在は知っていても、その魅力は知らず、身近な愛着のある場所にもなっていない。

探検などの活動後、児童は活動で楽しかったことや気付いたことをカードに好んで書いている。しかし、表現する力には、個人差がある。また発表にも意欲的だが、考えを述べたり話し合ったりする経験は少ない。

- 本単元は、内容（3）「地域と生活」内容（4）「公共物や公共施設の利用」を受けて設定した。

児童にとって最も身近な公共施設は学校である。児童には、学校生活を営む中で、少しずつ公共の意識が育ってきている。ここでは、学校からさらに活動の範囲を広げ、公園という場で遊びながら、公共の意識が高まっていくことを目指している。また、地域の公園に繰り返し出かけ、友達と活動を振り返ることにより、自分たちの住んでいる地域には、みんなと遊ぶことができる楽しい場所があることに気づき、愛着がもてるようにしたい。さらに、楽しく使うための利用の仕方について考えたり、工夫したりすることで公園での遊びが豊かになり、友達や公園を利用する地域の人ともつながりを深めることができる考える。

繰り返し公園探検をすることを通して、児童に次の3つのひみつに気付かせたい。

『ひみつ1』公園には楽しくするもの、便利なもの、安全のためのものがあること

『ひみつ2』気持ちよく楽しめる公園の使い方

『ひみつ3』掃除や除草、剪定などの管理作業をしてくれている人がいること

これらのひみつに気付くことが「公園を大切にしよう」「公園をきれいに使おう」という公共の意識として高まるようになる考える。

- 1年生の児童にとっては始まったばかりの生活科である。学習の基礎として様々なことに気付く目を育てていきたい。また指導にあたっては、地域の中での活動を通して次のことに重点をおいて指導していく。

①地域のひと・もの・ことと効果的に出合わせるための手だて

意欲の生起

散歩の帰りに立ち寄って楽しく遊んだ公園へ「もう一度行って遊びたい」というところから公園探検への意欲がふくらむ。また「公園のひみつをさがって公園はかせになろう」というところから公園について調べようという意欲をもたせる。

意欲の高まり

公園の状態の変化（木の剪定が行われている、ゴミがちらかっている…等）などを見越して公園に何度か出かけ、公園のひみつに迫っていく。

また、鍵がかかっている倉庫を発見させ、誰が鍵を持っているのか、中に何が入っているのか想像させ、その道具の使い道を考えさせることで、公園を支えている人の存在に気付かせる。

新たな意欲へ

串戸にある別の公園にも思いをはせ、自分たちの町の魅力に気付かせる。また単なる公園の利用者としてでなく、主体的に働きかけていける力を育てていき、これからの生活に生かしていけるようにする。

②目的意識をはっきりもたせるための手だて

「公園のひみつをさがる」ということで意欲をしっかりとらせて活動に臨ませる。

また1時間1枚のステップアップ式の振り返りカードを使い、階段を登っていくように学習に取り組ませたい。また振り返りも大切な生活科の学習ととらえさせたい。

【单元構想シート】

わくわく くしどたんけんたい (15)

～ 4 ちょうめこうえんのひみつをさがろう～

つかむ

安全に気をつけながら町たんけんをする。

「4丁目公園で遊んで帰ろう。」

お友だちのお家があったよ。4丁目公園は楽しいな。

またみんなで4丁目公園に遊びに行こう。

調べる

公園探検に行つて遊ぶ中で、いろいろなもの、ことに気付く。

「4丁目公園のひみつをさがろう。」

バッタがいたよ。花が咲いていたよ。いろいろな遊具があつて楽しい。小さい子も来ていたよ。ゴミが落ちていたよ。

4丁目公園はかせになるう。

考える

活動したことや体験したことなどを振り返り、公園のひみつを考える。

公園の変化に出合わせたり、公園のひみつを見付けさせたりする。

木が刈つてあるよ。これは何だろう。どうしてここにあるんだろう。倉庫には何が入っているんだろう。

倉庫の中の道具をぼくらも使つてみたいな。

広げる

発見したことや考えたことを伝え合う中で、理解を深めたことや自分ができるようになったことに気づき、生活に生かそうとする。

公園マップに書きこむ中で自分たちの気づきや成長に気付かせ、学習したことを次の活動や生活につなげる。

公園にはわたしたちのためにいろんなひみつがあるんだな。仲良く遊びたいな。今度は誰と出会えるかな。草を抜こうかな。ゴミを拾おうかな。

次は〇〇を探検したいな。

【地域の環境に気づき、地域のよさを知り、郷土に愛着をもつ子ども】

串戸には素敵な公園がほかにもあるんだな。

いろいろな人が公園を大切にしているんだな。

串戸の公園でいっぱい遊びたいな。

次の单元へ！

わくわく くしどたんけんたい パート2

～ くしどのひとと なかよし ～

4 単元の目標と評価規準

【単元の目標】 ◎公園を探検することを通して、地域の公園は楽しい場所で、みんなのものであることやそれを支えている人がいることなどが分かり、それらを大切に、安全やマナーに気を付けて楽しく利用することができるようにする。	
(ア) 生活への関心 ・意欲・態度	①友達と安全に楽しく遊ぼうとしている。 ②公園を通して町の人と親しみをもってかかわろうとしている。 ③公園のひみつを考えようとしている。 ④みんなのことを考えて利用しようとしている。
(イ) 生活への思考 ・表現	①安全な通行の仕方を考えたりあいさつをしたりして、適切に歩行することができる。 ②公園を利用したことや利用して楽しかったことなどを表現することができる。 ③みんなで楽しく使うための利用の仕方について考えたり、工夫したりすることができる。 ④公園を支えている人に、感謝の気持ちを表すことができる。
(ウ) 身近な環境や 自分への気付き	①身の回りには、みんなで使うものやみんなのための施設があることが分かっている。 ②公園がみんなのものであることや公園を支えている人がいることに気付いている。 ③公園を利用すると、自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付いている。

5 単元の学習計画と評価計画(全15時間 / 本時第三次3時間目)

次 (時数)	学習活動	評 価 規 準				評価方法
		関	思	気	評価規準	
一 (3) つかむ	○通学路を散歩し、町探検する。 ・安全に通学路を歩こう。 ・出会った人にあいさつしよう。 ・まちにあるものを見つけよう。 ・4丁目公園で遊んで帰ろう。	○	○		【関心・意欲・態度】 ① 友達と楽しく遊ぼうとしている。 【思考・表現】 ① 安全な通行の仕方を考えたりあいさつをしたりして、適切に歩行することができる。	行動観察 行動観察
二 (6) 調べる・考える ①	○公園探検に行き、公園のひみつを見付ける。 ・公園で遊ぼう。 ・公園のひみつを見付けよう。 ○遊んだことや発見したことを思い出し、公園探検を振り返る。 ○振り返ったことをみんなで出し合い、公園のひみつを考える。	○		○	【関心・意欲・態度】 ① 友達と安全に楽しく遊ぼうとしている。 【関心・意欲・態度】 ② 公園を利用する人と親しみをもってかかわろうとしている。 【思考・表現】 ② 公園を利用したことや利用して楽しかったことなどを表現することができる。 【関心・意欲・態度】 ③ 公園のひみつを考えようとしている。	行動観察 行動観察 行動観察 ふりかえりカード 行動観察

	ひみつ1 ・遊具や施設について ひみつ2 ・公園の使い方 ・草・ゴミなど ○次の公園探検の活動の計画を立てる。				【身近な環境や自分への気付き】① 身の回りには、みんなで使うものやみんなのための施設があることが分かっている。	発言 ふりかえりカード
三 (3) 調べる・考える ②	○公園探検に行き、公園のひみつを見付ける。 ・公園のかくれたひみつを見付けよう。 ○発見したことをみんなで出し合い、公園のひみつを考える。 ひみつ3 ・倉庫の中にある物 (本時 3 / 3)	○	○	○	【関心・意欲・態度】④ みんなのことを考えて利用しようとしている。 【思考・表現】③ みんなで楽しく使うための利用の仕方について考えたり、工夫したりすることができる。 【関心・意欲・態度】③ 公園のひみつを考えようとしている。 【身近な環境や自分への気付き】② 公園がみんなのものであることや公園を支えている人がいることに気付いている。	行動観察 行動観察 振り返りカード 行動観察 発言 行動観察 発言
四 (3) 広げる	○最後の公園探検に出かけ、楽しく遊んだり、町の人と一緒にそうじをしたりする。 ○活動を振り返り、交流するとともに、公園でかわった町の人に手紙を書く。	○	○	○	【関心・意欲・態度】② 公園を支えている人と親しみをもってかかわろうとしている。 【思考・表現】③ みんなで気持ちよく公園を使うための利用の仕方について考えたり、工夫したりすることができる。 【身近な環境や自分への気付き】③ 公園を利用すると、自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付いている。 【思考・表現】④ 公園を支えている人に、感謝の気持ちを表すことができる。	行動観察 行動観察 振り返りカード 発言 手紙 手紙

6 本時について

(1) 本時の目標

○倉庫の中にある物について想像したり，中の道具の使い道を考えたり，町内会長さんのお話を聞いたりすることを通して，みんなのための公園であることや公園を支えている人がいることに気付くことができる。

(2) 場の設定，ゲストティーチャー

4丁目公園の倉庫の見える木かげ 町内会長さん

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点（・）予想される児童の反応（○） （●個に応じた支援）	評価規準 評価方法〔〕
1 探検を振り返り，本時のめあてを確認する。	公園で遊んだことや見付けたことを発表させる。 もっと公園のひみつを見付けよう。	
2 公園の倉庫の存在に気付き，中にあるものを予想する。 「倉庫の中には何が入っているのかな？」	- 児童の振り返りの中から，倉庫の気付きを取り上げる。 - 中身を想像させ倉庫への関心を高める。 ○「倉庫があるよ。中に何があるのかな？」 ○「かぎがかかっていたよ。」 ○「かぎは町内会長さんがもってるって，おばちゃんが言ってたよ。」 ○「運動場の倉庫には，ボールや一輪車が入っているから，この中にも遊び道具が入っているんじゃない。」 ○「ほうきは教室の倉庫みたいなどころにあるから，ほうきやちりとりがあると思う。」 ○「かぎがかけてあるから，大切なもの何じゃないかなあ。」	
3 町内会長さんにカギを開けてもらい，倉庫の中身を見る。	町内会長さんに登場してもらい，カギを開けて中を見せてもらう。 ○「やっぱりほうきがあった。」 ○「遊び道具はないね。」 ○「ホースは何に使うのかなあ。」 ○「見たことのない道具があるね。」	
4 いつ，だれが使うのか予想する。 「倉庫の中の道具はだれが，どうやって使うのかな。」	○「町内会長さんが使うんじゃないの？」 ○「いっぱいあるから，一人だけじゃないと思うよ。」 - いくつかの道具を見せ，使い方を考えさせる。 - 安全に気を付けて道具を持たせ，動作化させる。 ○「こうやってごみをとるんだ。」 ○「ホースでお花に水をやるのかな？」 ○「水を流しながら，あそこを磨くのかもしれないよ」 ● 児童のつぶやきにも耳を傾け，話しやすいように言葉かけする。	【関心・意欲・態度】③ 公園の倉庫のひみつを考えようとしている。 〔行動観察・発言〕

5 分からないことを町内会長さんに尋ねる。 「分からないことは町内会長さんに尋ねてみましょう。」	・学校探検の時のインタビューの仕方を想起させる。 ○「これはどうやって使うんですか？」 ○「だれが、使うんですか？」 ○「いつそうじをするのですか？」 ○「自分のうちじゃなくてもそうじするの？」	
6 道具がある訳を考える。 「どうしてこんな道具が公園の倉庫にあるのでしょうか。」	○「きれいな公園にするため。」 ○「枝とか伸びていたら、小さい子が危ないから。」 ○「いっぱい人がきてほしいから。」 ○「いろんな人が気持ちよく使えるように。」	
7 3つめのひみつをまとめる。 「公園はかせのみなさん、今日はどんなひみつを見付けましたか？」	・児童の発見を共感的・肯定的に聞き、価値付けや意味付けをする。 ○「倉庫の中には、そうじ道具やはしごや植木を切る大きなはさみがあるよ。」 ○「公園をきれいにするためだよ。」 ○「公園は町の人がきれいにしてくれているんだ。」 ○「あぶないものものをけてくれているよ。」 ○「そうじが大変にならないように、ごみを散らかさないようにしないといけないよ。」	【身近な環境や自分への気づき】 ②公園がみんなのものであることや公園を支えている人がいることに気付いている。 〔行動観察・発言〕
8 今日の活動を振り返り、次時への展望をもつ。	・町内会長さんからお話を聞き、次の活動への意欲を持たせる。 ・最後の公園探検でしたいことを交流させる。 ○「道具を使って町内会長さんたちと一緒にそうじしたいな。」 ○「そうじしている人にもインタビューしたいな。」 ○「そうじがすんだら、きれいな公園で遊びたいな。」	